

2023年10月28日

近況報告

渡辺規夫

1.体調不良

9月26日(火)信州上田医療センター

大動脈弁の石灰化 信州上田医療センターで精密検査。結果は経過観察。1年に1回のドックで確認とのこと。講座を続けるのもあとわずか。

2.上田市の広報担当が母けさみの取材

9月28日(木)

元気な高齢者(102歳)として市の広報の1面トップに載せたいとのこと。元気なのに担当者は驚いたようだ。

3.中野 大道仮説実験講座 どっか〜ん

9月30日

どっか〜んのたのしさは

5	とてもたのしかった	4人
4	たのしかった	1人



4.上田 大道仮説実験講座 どっか〜ん

10月1日

どっか〜んのたのしさは

5	とてもたのしかった	17人
4	たのしかった	3人



5.腎臓を守る学習会 上田市ひとまちげんき

6.仮説実験授業大衆化への道研究会 成田

10月7日～8日 田中さんと参加

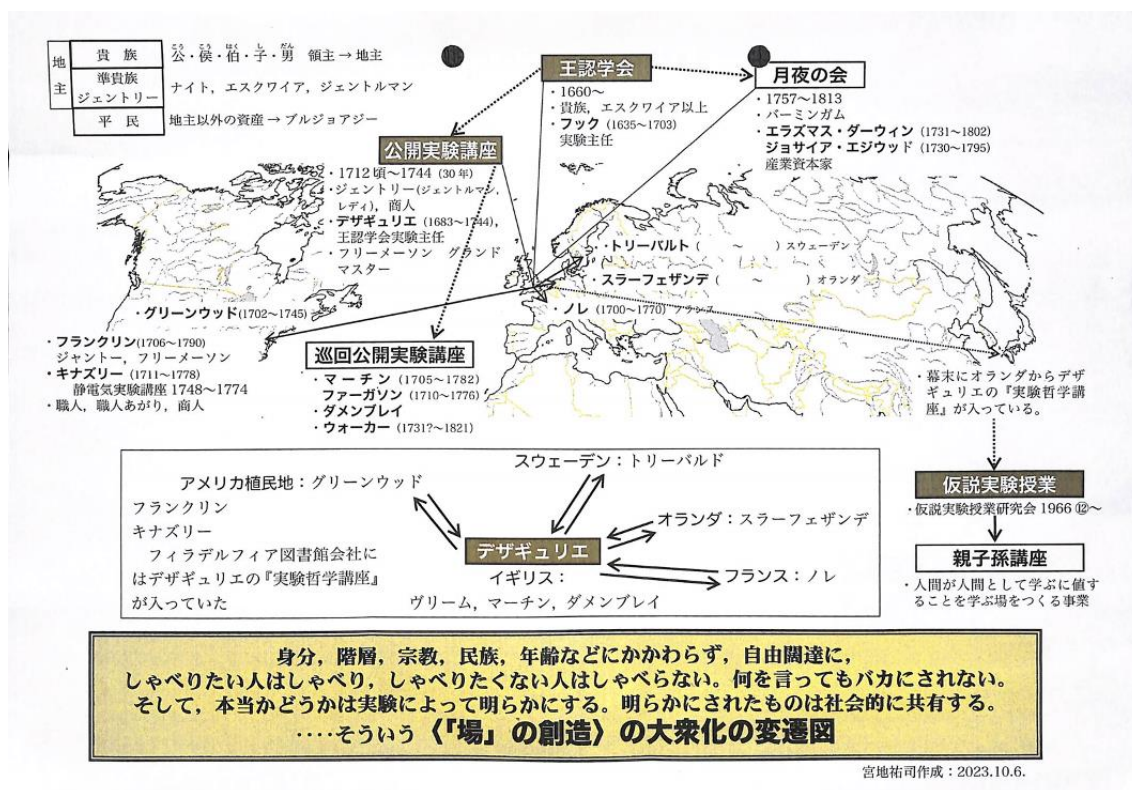
研究会の最初は《世界の国旗》の研究問題の発表大会でした。《世界の国旗》をやると、脳が国旗脳になり、それまで気が付かなかった国旗が目につくようになります。そうした気が付いたことの発表会です。イタリアレストランの国旗などはすぐ気が付きます。イスラエルとパレスチナのニュースでもそれぞれの国旗が映っています。《世界の国旗》をやっていないければ見過ごしてしまいそうです。学んだことを使えるようになるまでいかなければいけないと思いますが、仮説実験授業を学校で受けるときはなかなかそこまで行かない場合が多いようです。親子孫講座を受講してさらにファン講座まで来ると、使えるようになるということを実感しました。《磁石》を受講した人たちで研究問題をやる会を始めた人もいます。そういう取り組みが必要だと思いました。

私は長野県理科教育研究会でやった講演の再演をしました。また「大衆化路線と少数精

「鋭路線の矛盾論」を公表しました。

話題になったこと

宮地さんの講演



科学講座はデザギュリエから始まっているようです。この講演は文字起こしされるようです。

他人のつくった組織に乗って講座をやるとうどうなるか。

頼まれてやる講座がこれに当たります。田部井さんはこれをやって10年経ってもファンは作れませんでした。やって楽しかったというだけ。

宮地さんは大学で頼まれて講座を始め、大学の内紛で講座ができなくなって自前でやるようになってようやくこのことに気が付いたそうです。

私の場合も、小諸市民大学、ことぶきアカデミー、ことぶき大学院、長野県シニア大学で講座をやりましたが、そこからファンは生まれていません。

自分でファンを作らなければダメなのです。

宮地さん曰く

「自分のお客さんをつくる。自分のお客さんを育てる。」という発想がまったくないから、こんなことになるんだと思えてなりません。これが板倉さんの組織論の決定的な大事な点だと思っています。原点といってもいいでしょう。こういうことが、仮説実験授業を長年やってきても、共通認識になっていないのが、不思議です。こういうことを確認するために、コロナになって、ここ4年間くらいずっと話しているのですが、この4年を経ても、共通認識になりませんね。ここがずれていると、何をやってもうまくいきません。

自分でお客をつくらなければだめなんだと改めて思いました。

私の提出した感想文

宮地組織論の適用

なぜこんなにすごい会を作り出せるのか、それが疑問でした。宮地さん、武藤さんの能力がずば抜けているからなのかなあ・・・。

能力はずば抜けているのはその通りだと思うけれども、それですごい会を企画運営できる理由とは思えないなあ。

宮地さんや武藤さんが研究会の作り方について持っているイメージがボクと違うからかなあ。どんなイメージを持って会を企画しているのかなあ。

いろいろ考えてこのような会を企画運営できるのは、宮地さんの組織論がずばぬけているからだと気が付きました。

板倉組織論は仮説実験授業研究会の中でもその意義はあまり理解されていないと思います。「仮説実験授業研究会は自由でいい。」とよく言いますが、自由にすればあのような組織ができるわけではありません。そこを誤解している人が多いと思います。

板倉組織論を最もよく理解して自分のものにして使いこなしている、それが宮地さんと武藤さんだと思ひ当たりました。そうなんです。**板倉組織論、宮地組織論の適用された研究会だから自由で生産的で楽しいのです。**

今回の仮説実験授業大衆化への道研究会に参加して感じたのは、仮説実験授業研究会の初期の大会や板倉式発想法に学ぶ会でのあの自由闊達な雰囲気とまったく同じ雰囲気だということでした。仮説実験授業研究会の大会は、次第に研究を進める会ではなく、やったことを持ち寄って「たのしい」「たのしい」と言ってはしゃぐ会(と言ったら失礼!)になってきているように感じます。これでは仮説実験授業を将来に引き継ぐことはできないでしょう。

板倉玲子さんが200万円を楽知んに寄付してくださったのも、玲子さんが「仮説実験授業を将来に引き継いでくれるのは楽知ん研究所だ」と思っているのだと思われてなりません。

研究会の感想

1. 宮地さんの「場」の創造の大衆化の変遷図

すごくよかったです。自分たちのやっていること、やろうとしていることが歴史的に位置づけられました。「講座をやって楽しかった」と言って喜んでいるのはだめだと思ひました。ただ、今後参入してくる人たちは、最初はただ「楽しかった」と言って喜んでいるだけの人もたくさんいると思います。そういう人たちが世界史の中に自分の仕事を位置づけることができるようにしていくことが必要になるのでしょう。板倉式発想法の会などはそういうことを目指していたと思いますが、自分も含めて参加者はなかなかそのことに

気が付かなかったと思います。平林浩さんの話では板倉さんは仮説実験授業提唱した初期から「自分たちの仕事を世界史の中に位置づけることをしなければだめだ。」と言っていたそうです。その精神を引き継いでいるのが今回の仮説実験授業の大衆化への道研究会だったのだと合点が行きました。

2.分子磁石説の歴史

私も分子磁石説の歴史を調べ始めましたが、途中で止まってしまいました。大いに勉強になりました。「日本の物理学者は分子磁石説に立っていたから磁性研究で成果を挙げられた」という仮説はますます本当らしく思われてきました。

余談ですが、中野のぶんしっし講座に参加した小3の男の子は、夏の親子孫講座磁石に参加して分子磁石が大好きになり、寝ても覚めても分子磁石、分子磁石と言って磁石による石釣りをしたり・・・という毎日だったそうです。そこにぶんしっしのチラシが来たので、それを見て分子磁石をやると誤解して「この講座に出たい」と言ったそうです。参加してみて、分子磁石は出てこなかったけれど、分子が大好きになったそうです。国旗脳ならぬ、分子磁石脳になっていたんですね。おそらく日本の物理学者たちは分子磁石脳になっていて、ノームソの中で分子磁石が勝手に動き出しているいろいろなアイデアが浮かんで来たのだらうと思います。そうでなければあれほど創造的になれるはずがないと思います。

磁区理論だって提唱されてからかなりの間は仮説だったのがわかりました。磁区についてちょっと文献を見ましたが、わかるような文献は見つからなかったです。

森総之助先生はいいなあ。こういう先生に教わりたいと思います。

3.大道→親子孫はない？

多くの発表で、リピーターの分析、大道→親子孫にどの程度来るかなどを聞き、自分の講座もリピーターを分析したいと思いました。大道は親子孫の宣伝にはなっていないんですね。

4.主催者こんなことある？ない？集

武藤さんのある？ない？は強烈でした。仮説実験授業初期には授業する人が陥りやすいことを板倉さんが丁寧に説明して、これまでの教育常識で対応してはだめだということをお教えしてくれましたが、親子孫講座でも、これまでの教員として培った常識でものごとを判断してしまうということがありがちで、それを指摘してもらったのはよかったです。

5.三島徳七

3時15分のバスに乗る予定でしたが、宮地さんのもう一つの講演を聞くために予定変更しました。これは大正解でした。三島徳七のことが『かわりだねの科学者たち』に出ていたとは!!!!三島徳七の『私の履歴書』を早速日本の古本屋で検索したけれどなし。アマゾンで検索したらあったので早速注文しました。宮地さんの研究の後追いですが、板倉さんが「引用文献を自分でもきちんと読んでみると新しい発見をすることもある。」と言っていたので。それに研究の大部分は先行研究をしっかりと調べることですから。これを読んでアマゾンで注文しようとする人は私が買ったのよりずっと高い値段がついている古本に

なります(-_-;)

6.自分の講演

理科研究会での発表のためにはかなり準備しましたが、今回はそれを改訂したりする余裕はなく、そのまま使いました。聞いてもらえてよかったです。参加者の大部分にとってはすでに常識化したことをまとめたただけだったのではないかと思います。

7.大衆化路線と少数精鋭路線

これは未完成の論考です。高橋金三郎さんが『わかる授業』という雑誌を創刊したとき、『たのしい授業』は少数精鋭路線で、一部の教員の役に立つだけだ。指導要領に問題があるにしても、指導要領準拠でよりよい授業をするにはを研究する方が多くの教員の役にたつはずだと考えたと思います。すなわち大衆化路線をとったのです。

結果は少数精鋭路線のはずの『たのしい授業』が多数派になり(発行部数が多い)、大衆路線のはずの『わかる授業』は発行部数が伸びず、廃刊になりました。このようなことも背景に持つ論考でした。もう少ししっかりまとめたいと思います。

ちょっと反応が少ないのが残念です。

全体として、どの発表も興味深く考えさせられるものでした。全部の資料をファイルしました。資料をよく読みたいと思います。

73歳、男性の健康年齢が満期になりました。もう講座ができない???できなくなったら理論的な研究をします。ただ、体年齢は67歳と判定されたので、あと6年できる計算です。ただし心臓が悪化しない場合の話です。

7.夏子城下小学校150周年記念式典で講演 10月13日

8.ぶんしっし講座 上田 10月15日

**もっとぶんしっし午前
カードゲームのたのしさは**

5 とてもたのしかった 8人

4 たのしかった 1人



**もっとぶんしっし午後
分子模型づくりと原子論の紙芝居
たのしさは**

5 とてもたのしかった 9人



楽しくて熱中した

はじめは5時間で「長〜い」と思っていたのですが、想像以上に楽しくて熱中してしまいました。特に分子を作るのがとても楽しくて次々にやってしまいました。たのしい講座を

ありがとうございました。

藤松れんじくん

角度定規に感動

分子づくりに没頭してしまいました。角度定規を使ってうまく作れるように工夫してあったことに感動しました!大人も楽しく参加できました。ありがとうございました。

中村俊文さん

8. まちかど科学クラブ 10月21日

磁石 2回目

あおむしくんまで。

9. 実籐さんから本の贈呈

予定

- 1 1月4日～5日 親子孫 ミクロの世界 中野
- 1 2月3日 ころ家ん学会 名古屋で授業 太陽系のなりたち
- 1 2月25日～26日 親子孫ワークショップ 名古屋東桜会館
- 1 月20日～21日 親子孫 磁石 上田
- 1 月28日 大道仮説 びりりん 上田
- 2 月11日～12日 親子孫 磁石 中野
- 3 月3日 大道仮説 びりりん 中野

